

## 目標1 地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援の仕組みづくり

## (1) 妊娠・出産に関する支援の推進

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
区市町村が、妊娠期から子育て期にわたって、きめ細かな支援を切れ目なく提供できている。	①地域において妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援する体制は整備されたか →○妊娠期・子育て期の相談窓口の認知率の増加 【参考資料】地域別データ	・福祉保健基礎調査
	②妊婦や保護者の健康管理への意識は高まっているか →○妊娠届出率の増加【参考資料】区市町村別 ○妊婦健診の受診率の増加【参考資料】区市町村別 ○母親学級・両親学級の受講率の増加【参考資料】区市町村別 ○乳幼児健康診査等の受診率の増加【参考資料】区市町村別	・母子保健事業報告年報
	③妊娠・出産への支援に満足しているか →○産後1か月程度の間での指導・ケアが十分であったと感じた人の割合の増加	・厚生労働省調査

## (2) 安心できる小児・母子医療体制の整備

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
安心できる小児・母子医療体制が整備されている。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	・事業実績調査

## (3) 子育て家庭を地域で支える仕組みの充実

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
区市町村において相談支援やサービス提供の充実が図られている。	①子育て家庭を支援する体制は整備されたか →○子育てひろば事業等へ参加したことがある人の割合の増加【参考資料】地域別データ ○在宅支援サービスの認知度の増加 ○在宅支援サービスのさらなる提供は不要と思う人の割合の増加 ○親子で交流できる場所や施設が身近にない、公共の施設が子供や親にとって利用しにくい、と感じる人の割合の減少【参考資料】地域別データ	・福祉保健基礎調査
	②子育て家庭に対する支援に満足しているか →○出産や子育てに関する情報提供や相談の場の整備がさらに必要と感じる人の割合の減少 【参考資料】地域別データ ○子育て家庭を地域で支える仕組みとサービスが充実していると考える人の割合の増加	・福祉保健基礎調査

## (4) 子供の健康の確保

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
子供の健康が確保されている。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	・事業実績調査

目標2 乳幼児期における教育・保育の充実		
<b>(1) 就学前教育の充実</b>		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
質の高い幼児教育が確保されるよう必要な支援が実施されている。	①就学前教育が充実しているか →○就学前教育が充実していると考える人の割合の増加【参考：就学前教育の質として、何が重要と思うか】	・福祉保健基礎調査
<b>(2) 保育サービスの充実</b>		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
保育サービスが充実されている。	①待機児童は解消したか →○待機児童の解消 ○保育サービス利用児童数の増加	・保育支援課調査
	②保育サービスの質が確保されているか →○指導監査での指摘数の減少 ○保育サービスの質の向上施策が充実している、と思う人の割合の増加 ○第三者評価利用者調査で子供の気持ちを尊重した保育サービスがされていると思う人の割合の増加	・指導監査報告書 ・福祉保健基礎調査 ・第三者評価
<b>(3) 認定こども園の充実</b>		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
認定こども園が普及している。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	・事業実績調査
<b>(4) 就学前教育と小学校教育との連携</b>		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
幼児が小学校入学後の学習や集団生活に適應できるようにする。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	・事業実績調査

### 目標3 子供の成長段階に応じた支援の充実

#### (1) 子供の生きる力を育成する教育環境の整備

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
子供の「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」を育成するための環境が整備されている。	①学力は向上したか →○小・中学生の学力の向上	・全国学力・学習状況調査の分析結果について
	②体力は向上したか →○小・中学生の体力・運動能力の向上	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査
	③子供の生きる力を育成する環境は整備されたか →○子供の生きる力をはぐくむ環境の整備施策が充実していると思う人の割合の増加	・福祉保健基礎調査

#### (2) 次代を担う人づくりの推進

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
子供たちが社会の一員としての自覚を持ち、自立に向けた準備を整えられる仕組みが充実されている。	①若者の自立を支援する体制は整備されたか →○若者の社会的自立の促進施策が充実していると思う人の割合の増加	・福祉保健基礎調査
	②若年者の自立は進んだか →○若年無業者の割合の減少 ○小・中学校の不登校者の割合の減少 ○都内公立高等学校の長期欠席者の割合の減少	・就業構造基本調査) ・学校基本調査 ・児童生徒の問題行動等の実態について

#### (3) 放課後の居場所づくり

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
放課後の居場所が拡充されている。	①放課後の居場所は整備されたか →○小学生の子供を預けられるサービスの整備がさらに必要だと思う人の割合の減少 ○就学後の子供を放課後や長期休暇中預かってくれるところをさらに整備してほしいと思う人の割合の減少	・福祉保健基礎調査

## 目標4 特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実

### (1) 子供の貧困対策の推進

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
貧困の世代間連鎖を断ち切り、全ての子供が健やかに成長できるよう、子供の貧困に対する総合的な施策が充実されている。	① 貧困の状況にある子供の進学状況は改善されたか → ○生活保護世帯に属する子供の高校等への進学率の上昇 ○児童養護施設の子供の高校等への進学率の上昇 ○生活保護世帯に属する子供の高校中退率の減少	・厚生労働省社会・援護局保護課調べ
	② 貧困の状況にある子供の就職状況は改善されたか → ○生活保護世帯に属する子供の高校卒業後の就職率の上昇 ○児童養護施設の子供の高校卒業後の就職率の上昇	・厚生労働省社会・援護局保護課調べ
	③ ひとり親家庭の就業状況は改善されたか → ○就業率の上昇 ○正規雇用の割合の上昇	・福祉保健基礎調査
	④ 貧困家庭の早期発見につながる体制は整備されたか → ○妊婦届出者に対する面接を行った割合の上昇	・母子保健事業報告年報

### (2) 児童虐待の未然防止と対応力の強化

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
虐待の対応について、切れ目のない支援が行われる体制が整備されている。	① 児童虐待に対する意識は高まっているか → ○虐待通告(総)件数のうち、近隣・知人からの通告数・割合の増加 ○通告義務の認知度	・事業概要(東京都児童相談所)
	② 児童虐待に対応する体制は整備されたか → ○児童虐待防止対策に関する施策が充実していると思う人の割合	・福祉保健基礎調査

### (3) 社会的養護体制の充実

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
社会的養護を必要とする子供が、それぞれの状況や課題に応じた養育・ケアを受け、健やかに育ち自立できるようにする。	① 子供の状況に応じた養育・ケアが提供される体制は整備されたか → ○社会的養護に占める家庭的養護の割合の増加、児童養護施設・乳児院の小規模化の割合の増加	・福祉保健局調査
	② 自立支援を受けられたか → ○施設等の指導・支援、進路相談について満足している退所児童の割合の増加	・児童養護施設等退所者調査報告書

### (4) ひとり親家庭の自立支援の推進

目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
ひとり親家庭が安定した就労や生活の下、子供を健全に育むことができるようにする。	① ひとり親家庭に対する相談体制は整備されたか → ○母子・父子自立支援員制度の認知率の増加 ○東京都ひとり親家庭支援センターの認知率の増加	・福祉保健基礎調査
	② ひとり親家庭に対する子育て支援・生活の場は整備されたか → ○夜間・休日を問わず、子供を預けられる保育サービスの整備、学生の子供を預けられるサービスの整備、子育て家庭の住宅環境の整備を必要と感じる人の割合の減少	・福祉保健基礎調査
	③ ひとり親家庭の就業状況は改善されたか → ○仕事について困っている人の割合の減少 ○収入が良くないことを理由に転職を希望する人の割合の減少	・福祉保健基礎調査

(5)障害児施策の充実		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
障害児とその保護者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、一般的な子育て支援施策における障害児の受入れを進めるとともに、子供の成長段階や障害特性に応じた適切な支援が提供されるよう障害児支援の提供体制の確保を進められている。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	・事業実績調査
(6)慢性的な疾病を抱える児童等の自立支援		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
疾病を抱える児童の自立促進に向けた支援が図られている。	①疾病を抱える児童の自立を支援する体制は整備されたか →○小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の認知度の上昇	・家庭支援課調査
目標5 次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備		
(1)仕事と家庭生活の両立の実現		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
ワークライフバランスが推進されている。	①仕事と家庭生活の両立に向けた支援体制は整備されたか →○家庭生活との調和がとれた職場づくりの推進に関する施策が充実していると思う人の割合の増加 ○女性の有業率の増加 ○男性の育児休業制度利用者の増加 【参考資料】総労働時間（男性・女性）、パートタイム労働者比率、所定外労働時間	・福祉保健基礎調査 ・都民の就業構造
	②家庭での意識は高まったか →○子供と一緒に過ごす時間の増加 ○夫婦のコミュニケーションの増加 ○夫婦の会話時間の増加 ○家事分担割合の理想と現実のギャップの縮小	・福祉保健基礎調査
(2)子供を犯罪等の被害から守るための活動の推進		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
子供が犯罪等の被害から守られている。	①子供の犯罪被害は減少したか →○福祉犯罪の子供の被害者数の減少 ○福祉犯罪（性的被害）による保護状況の減少	・警視庁統計「少年非行の傾向」
	②子供を犯罪被害から守るための取組が充実しているか →○子供をインターネット等の有害な情報や薬物・非行・犯罪等から守る取組が充実していると思う人の割合の増加	・福祉保健基礎調査
	③子供を犯罪被害から守る親の意識は向上しているか →○携帯電話等のフィルタリングの利用率の増加	・警視庁資料

(3) 子供の安全を確保するための取組の推進		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
子供の安全が確保されている。	①子供の事故数は減少したか →○交通事故の死傷者数の減少 ○日常生活の事故数の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>警視庁統計交通事故の死傷者数</li> <li>東京消防庁救急搬送データからみる日常生活の事故</li> </ul>
(4) 良質な住居と居住環境の確保		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
良質な住居と居住環境が確保されている。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実績調査</li> </ul>
(5) 安心して外出できる環境の整備		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
安心して外出できる環境が整備されている。	事業実績（アウトプット）により評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実績調査</li> </ul>



○東京都子供・子育て支援総合計画 理念		
目指す成果	評価指標 → アウトカム	出典(予定)
<p>①すべての子供達が、個性や創造力を伸ばし、社会の一員として自立する環境が整備・充実されている。</p> <p>②安心して子供を産み育て、子育ての喜びを実感できる社会が実現されている。</p> <p>③社会全体で子供と子育て家庭を支援する社会が実現されている。</p>	<p>理念1 【目標2、目標3、目標4 に関連】</p> <p>理念2 【目標1、目標5 に関連】</p> <p>理念3 【目標1、目標3、目標5 に関連】</p> <p>関連する各目標の評価を基に、総合的に評価する。</p> <p>【参考資料】</p> <p>(1) 厚生労働白書「理想子ども数と予定子ども数の乖離」 (関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川))</p> <p>(2) 合計特殊出生率、出生数</p>	